

氏名 (ふりがな)	清野 茂 (せいのしげる)
所属・職位	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科・教授
最終学歴	東北大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学
学位	教育学修士
免許・資格	
連絡先	TEL:01654-2-4199(1302) FAX: 01654-3-3354 研究室所在地：新館3階

専門分野	障害児教育学, 障害者福祉論
主な担当科目	社会福祉学科: 障害者福祉論 I, 総合リハビリテーション論, 障害児教育, 卒業研究 短期大学部児童学科: 障害者福祉論
主な研究テーマ	1. 昭和初期聾啞教育と手話を擁護した人々 2. 知的障害者の芸術活動 3. 知的障害者の地域生活移行
研究キーワード	昭和初期聾啞教育, 手話, 佐藤在寛, 知的障害者, アウトサイダー・アート, さをり織
主な著書・論文 (最近5年間)	1. 清野茂. 知的障害者のエンパワメントに果たしたアートとしての「さをり織り」. 『地域と住民』. 2007:25:7-18 2. 清野茂. 昭和初期聾啞教育における高橋潔と佐藤在寛. 北海道社会福祉史研究. 2007:8:17-23 3. 清野茂. 北海道児童福祉のあゆみ. 『北海道の歴史と福祉』. 2009:665-72 4. 清野茂. 知的障害者の地域移行の現状と課題—先進的施設の事例調査を通じて—. 『地域と住民』. 2009:27:67-83 5. 忍博次, 清野茂. 知的障害者の地域移行・自立支援の問題. 日本発達障害学会『発 達障害研究』. 2009:24-33
外部獲得資金 (最近5年間)	
学会活動	1. 日本特殊教育学会会員(1972年～現在) 2. 日本社会福祉学会会員(1979年～現在) 3. ろう教育科学会会員(1974年～現在)
社会貢献	社会福祉法人名寄みどりの郷評議員 2002年～現在

コメント	<p>ろう教育と手話の戦前の歴史に関する研究を中心に行っています。かつて、聾学校から手話が排除されていた時代が長く続いてきました。大阪市立聾啞学校、私立函館盲啞院など、戦前期わずかながらあった手話を擁護する学校は、周囲からの批判にさらされながら、手話はろう者の母国語であるという主張を曲げず、実践を続けました。戦後長く埋もれ、かえり見られてなかったそれらの実践、教師、生徒の姿を明らかにしようという意図で、資料を掘り起し、研究を継続してきました。</p> <p>また、最近とりくんでいるテーマとしては、知的障害者の地域生活移行について、知的障害者のアートについて、特に「さをり織り」に関心を持ち、資料の収集、聞き取り調査を行っています。</p>
------	--